

# 生活支援

# コーディネーターニュース 第1号

発行 社会福祉法人 海老名市社会福祉協議会 地域支援グループ  
〒243-0492 海老名市勝瀬175-1 海老名市役所内  
電話 046(235)0220 FAX 046(235)0191  
E-mail chiiki@ebina-shakyo.or.jp



地域における支え合いのしくみづくりに向けて

高齢の方が増えていく中で、地域の支え合いがより一層求められています。

海老名市社会福祉協議会では、地域支え合い推進役として、生活支援コーディネーターを配置しています。地域で気になることがある、地域で何かの活動をしてみたい、得意なことを活かしたい、困っているので相談したいなど、社協の生活支援コーディネーターが地域・関係機関とのネットワークを活用し、解決に向けて対応していきます。

## 地域活動

地域でちょっとしたお手伝いができる、自分の得意を活かしたい

話を聞くのが好きだけど、どこで活かせるかしら…  
得意のハーモニカ演奏を活かして活動したい  
趣味のパソコンの腕を活かしたい  
地域のサロンでお茶出しのお手伝いならできそう  
手芸が好きだから、針仕事ならまかせて！  
体を動かすのが好きなので、地域のみんなで体操したい



## 相談ごと

ちょっと困っていること、不安に感じていることを相談したい



重たいものを持って帰れないので買い物が大変…  
ひとりでご飯を食べるのが寂しい…  
育児のちょっとした悩みを気軽に相談できる人がいない  
いつもキレイに庭の手入れをしていたのに、最近庭が荒れている  
父子家庭の子が、夜遅くまで子どもだけで過ごしているようだ

お気軽に  
ご相談ください！

地域支援グループ 046(235)0220

現在 急速な高齢化が進んでおり、海老名市においても4人に1人が高齢者の割合となっています。いま私たちの身近な地域では、人と人のつながりが気薄になり、孤独感や漠然とした不安を抱えながら暮らす人も増えています。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、人と人が接触する機会を減らすことが求められ、ボランティア活動や住民主体の活動が制限され、力を発揮しにくい状況にあります。

日常生活の“ちょっとした困り事”を住民同士の助け合いで解決する「生活支援活動」

海老名市内でも現在6団体が活動しています。

人と人のつながりを尊重し、生活に寄り添いながら地域住民の「困った」に応える活動団体の取り組みをご紹介します！

## エピソード

## 01 ミカンの木の剪定依頼

## 依頼者の喜びが、やりがいに

75歳の高齢者世帯からミカンの木の剪定依頼がありました。作業内容は、庭に生えているミカンの木と、小木4本の剪定でしたが、小木の中には鋭いとげがあり、苦勞しましたが、作業は2人で1時間程で終了しました。

「ミカンは常緑樹のため、冬になると日光が部屋に差し込まず寒々としていましたが、これからは部屋に日光が入り、暖かくなるでしょう」と言って、とても喜んでくれました。

後日依頼者から下記のような**お礼のお手紙が支援者あてに届き、支援者としてうれしくなり、支援活動に一層のやりがいを覚えました。**

(手紙全文) 過日は、大変お世話になりました。お陰さまで伐採していただいたミカンの木も今年は花をつけ、今では小さな実をつけています。足腰が悪くなり、踏み台1つ怖くて使えません。高い所に手が届かなくなり、近所の人に頼んでおります。皆様のお陰で大変助かっております。本当にありがとうございました。



△庭木の剪定作業中 (ただし本文とは関係ありません)

## エピソード

## 02 杉久保小下校時の見守り

## 支援活動は、楽しいと思ってもらえることが一番

きっかけは、PTA役員から下校時の見守りする担い手がいないと相談があり、地区社協の生活支援事業で行うことになりました。

まず下校時の見守りができるボランティアを募ったところ16人の方が申し出てくれました。

見守りのシフト表を作るのは、なかなか大変ですが、**支援活動は、義務化したら絶対にダメだと思うのです。だから皆さんが無理なく、そして楽しい！と思ってもらえるのが一番！**

見守りを始めてから、子供たち下校時にハイタッチしてくれたり、中にはランドセルから宿題のノートを広げて、宿題を教えてほしいとせがんでくる子もいますよ。子供たちとの何気ない会話が日々の楽しみでもあります。



△下校時の見守り中

※現在新型コロナウイルス感染防止のため一部活動を制限しております。